

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年8月13日 (2009.8.13)

【公表番号】特表2007-506512(P2007-506512A)

【公表日】平成19年3月22日 (2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-011

【出願番号】特願2006-528036(P2006-528036)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/10 (2006.01)

A 6 1 B 17/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/10

A 6 1 B 17/08

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年5月20日 (2009.5.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組織を穿孔および貫入するための鋭くされた遠位先端部を有する少なくとも 1 つの組織穿孔ファスナー、

遠位アクセス部位から目標とされる脈管内領域へ配置されるように寸法決めおよび構成された、ファスナー取り付けアセンブリを備えるシステムであって、該ファスナー取り付けアセンブリは、

アクセス通路を規定し、柱強度および偏向可能な遠位領域を有するカテーテル本体を備える、管腔内方向付けデバイスであって、該管腔内方向付けデバイスのカテーテル本体は外部の安定化構成要素を備えない、管腔内方向付けデバイスおよび

該管腔内方向付けデバイスから独立した管腔内ファスナーアブライアであって、柱強度を有し、アクセス通路に沿った導入のために寸法決めおよび構成されたカテーテル本体を備え、該管腔内ファスナーアブライアのカテーテル本体は外部の安定化構成要素を備えず、そして該鋭くされた遠位先端部を、該目標とされる脈管内領域内の組織に穿孔および貫入させることによって、組織穿孔ファスナーを移植するための移植力方向に移植力を発生するように選択的に動作可能であるカテーテル本体によって担われる作動される部材を備える、管腔内ファスナーアブライア、および

該目標とされる脈管内領域内に移植力のうちの一部または全て、あるいは少なくとも一部分を分解するために十分な柱強度を有するように寸法決めおよび構成された、該管腔内方向付けデバイスまたは該管腔内ファスナーアブライアあるいは両方のカテーテル本体の柱強度、

を備える、システム。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 8】

方向付け構成要素 18 の管状体、およびファスナーアブライア構成要素 27 のシャフトは、脈管内腔またはその他の中空の身体器官における移植力のうちの一部 または全て、あるいは少なくとも一部分を分解するために十分な柱強度を有するように寸法決めされ得、構成され得る。それに加えて、または代替的に、方向付け構成要素 18 および / またはファスナーアブライア構成要素 27 は、ファスナーを移植するファスナーアブライア構成要素 27 の駆動式部材、あるいはその近傍に反作用力を加えるための安定化手段 20 を含むことができる。